

ソーラー型防犯カメラの設置を検討している自治会様へ

防犯カメラには太陽光を電源とする「ソーラー型防犯カメラ」と、電線から電源を供給する「非ソーラー型防犯カメラ」があります。ここではソーラー型防犯カメラの設置を検討している自治会様に、ソーラー型防犯カメラのメリットやデメリットや過去に自治会が購入した実績のある機種を記載しますので、検討材料としてご活用ください。

○ソーラー型防犯カメラのメリット

1. **金額を安く抑えることができる。**

【解説】

ソーラー型防犯カメラは個人で設置することを想定しているため、安価なものが多いこと、購入費及び設置費の最大9割が補助金対象となることから、自治会の金銭的負担を低くすることができます。

また、毎月の電気代の発生もありません。

2. 設置が容易

【解説】

電気工事が不要のため、設置場所さえ確保できれば設置自体は容易です。

ですが、防犯カメラを設置するためのポールを建てる等の必要が発生することがありますので、その場合は専門業者に依頼する必要があります。

○ソーラー型防犯カメラのデメリット

1. **安定した録画ができない可能性がある。**

【解説】

太陽光を電源としているため、天候によっては電力供給が安定せず、24時間の撮影ができない可能性があります。

また、台風等でソーラーパネルに物がぶつかり、ヒビ割れが起きる可能性がある危険性もあります。

2. 定期的な**ソーラーパネルの清掃**が必要

【解説】

枯れ葉や汚れなどでソーラーパネルが遮られると充電効率が下がるため、定期的な清掃をすることをお勧めします。

3. **購入方法に注意が必要**

【解説】

本補助事業は神奈川県補助金を利用したものであり、県からの指導により次の点に注意する必要があります。

- ・ネットショッピングサイトで購入する際は**自治会名義のアカウント**を使用すること
- ・クレジットカード決済の場合、**自治会名義のカード**を使用すること

このため、購入する場合は家電量販店や電器店等から現金購入することをお勧めします。

○ソーラー型防犯カメラ設置の際に併せて購入する必要があるもの

ソーラー型防犯カメラを設置は原則、自治会自身で設置することとなります。その際にカメラと併せて購入する必要があると思われるものについて御案内します。

No	購入物品	備考
1	ソーラー型防犯カメラ	
2	映像記録媒体（SDカード等）	購入するカメラによって媒体の種類は変わりますので、カメラの仕様を御確認ください。
3	防犯カメラを設置するためのポール	※防犯街路灯が設置されている自立柱に設置する場合は不要です。 ※設置する場合は風で倒れないように基礎を地中に埋める必要があるため、工務店等、作業に慣れている方に依頼することをお勧めします。
4	防犯カメラ取付用バンド（留め具）	ポールにカメラを固定するための留め具です。
5	防犯カメラ設置を示す看板	

※その他必要と思われるものについては各自治会で判断し、購入してください。

○過去に自治会において購入されたソーラー型防犯カメラ機種

No	会社名	型番	価格_税込（当時）
1	ハンファジャパン（株）	DVR-Z1PLUS-SP	18,800円
2	新鋭株式会社 （SecuSTATION）	SC-MW68	32,890円
3	A-ZONE	ZC-IPC218	7,999円